

様式第5号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年3月17日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町下那珂 2940 番地 82
名 称 広瀬小学校区地域づくり協議会
代表者の氏名 井上 聖子
電話番号 0985-73-1120

令和6年6月7日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (1) 事業実施報告・収支決算書
- (2) 事業別収支計算書
- (3) 積立金管理状況報告書
- (4) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届書
- (5) その他

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

1 総括

学習キャンプ事業、フリーマーケット事業、協議会講座での **Furei Concert** 等の新しい事業への挑戦と、中学生ボランティア事業や健康づくり地区民交流事業等既存の継続事業がうまくミックスされ、活気づいた地域づくりの前進が感じられたと総括している。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	1,687,000	1,687,000		
繰越金	236,530	236,530		
雑収入	75,000	128,500	53,500	令和5年度車検積立取崩、出店料、カヌー、譲渡会
合計	1,998,530	2,052,030	53,500	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域安全確保推進に係る事業	19年目	301,000	264,932	▽36,068	
環・再	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業	18年目	148,400	125,807	▽22,593	
健	健康づくり地区民交流事業	19年目	545,130	537,312	▽7,818	
再・伝	ふれあい交流推進活動に係る事業	18年目	81,000	61,816	▽19,184	
教	中学生ボランティア事業	16年目	65,000	59,291	▽5,709	
教	協議会講座事業	9年目	179,000	125,906	▽53,094	
再	広報事業	19年目	315,000	310,415	▽4,585	
再	地域リーダー育成事業	12年目	139,000	108,192	▽30,808	
福	制服等の譲渡会事業	4年目	63,000	61,191	▽1,809	
教	学習キャンプ事業	1年目	84,000	66,381	▽17,619	
福	フリーマーケット開催事業	1年目	78,000	82,501	4,501	
繰越金			0	248,286		
合計			1,998,530	2,052,030	53,500	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域安全確保推進に係る事業	実施年数	19年目
事業期間	開始：平成18年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎地域住民が共同し、自ら防災防犯の意識を高め、安全・安心な住みやすいまちづくりに努める。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>防災学習、防犯パトロール、見守り活動、危険箇所改善など地域でできる活動を通して住民の防災・防犯意識を高め、子どもから高齢者まで誰でも安心して暮らせる地域づくりを推進する。</p>		
事業内容・	<p>(1) 防災に係る支援と啓発活動 防災食・炊き出し訓練、防災運動会 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：8月3日～4日 内 容： 学習キャンプ事業の両日に、子供父兄など55名が参加して、障がい者疑似体験、防災運動会、業者から寄贈された炊き出し用の大羽釜と寸胴大鍋で、ハイゼックスを使ったご飯と豚汁の炊き出し訓練を実施した。</p> <p>(2) 防犯パトロールの推進活動 地 域：広瀬小学校区内 実施時期：通年 内 容：青パトによる広瀬小学校区内の見守り、防犯パトロールを実施した。</p> <p>(3) 危険箇所改善推進活動 場 所：校区内全域 実施時期：5月～12月 内 容：自治会から出された通学路や生活道路及びその他危険箇所18件の改善を関係機関に要望を行い11件が改善された。</p> <p>(4) 子どもみまもり隊活動支援活動 ア、みまもり隊活動支援 場 所：広瀬小学校校区内 実施時期：通年 内 容：自治会に小学児童の下校時刻表の配布を毎月行った。 見守り隊員備品提供（帽子4、ベスト5、腕章3、旗7） イ、みまもり隊関係者連絡会議の開催と感謝集会への参加 会 場：広瀬地区交流センター、広瀬小学校 実施時期：6月12日（関係者連絡会議）、1月17日（感謝集会） 内 容：各地区見守り隊員、小中学校長、警察等26名が参加して実施した。 佐土原交番所長からは広瀬地区の交通事故、不審者案件についての現状、児童の登下校の安全対策等の講話があった。幸い広瀬地区で子供の絡む事故は起きてないが県内では小中学生合わせて45件発生している。 見守り隊員からは、下校時の道に広がっての歩行、縁石の上を歩行する子、保護者の車での送迎時の場所などに対して、学校長の指導要請などの意見交換を行った。</p>		
事業費	264,932円		
対象者	地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和6年度	令和5年度
	一般参加者	180人	215人
	スタッフ	17人	8人
	合 計	197人	223人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプをしながら子供と一緒に、防災運動会、炊き出し訓練に参加できて楽しみながら防災の意識向上に役立ちました。 ・子供が理解できるような、防災運動会でとてもよかったです。 ・ビニールでご飯ができる体験ができて参考になりました。 ・盲目体験で目に障害のあり方の大変さがほんの少し判ったような気がした。 ・車椅子は乗ってみて、何か障害物があると障がい者の方は、大変と思いました。 ・青パトが巡回するので安心です。良ければもう少し巡回をたくさんしてもらおうと大変ありがたいです。 ・見守り隊の隊員が高齢化で大変です。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	学校や自治会と意思の疎通を図り、住民ニーズを取り入れた事業を計画実施した。	広報	◎事業の周知	A	A	住民参加型の事業は自治会の回覧チラシ、小中PTAへのチラシ使って周知し、参加者が特定されている事業は当事者に案内している。	
	2 住民の参加	A	B	キャンプの中に、防災関連、福祉関連を取り入れ、親子の参加を促した体験型事業は新たな住民参加につながった。			事業の効果	◎課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	昨今の自然災害や、弱者の安全が不安視される昨今、安全安心は住民すべての願いであり地域づくりの取り組みとし妥当である。	事業の必要性	◎住民の満足度			A	B
	3 各種団体との連携	A	A	自治会、民生委員、消防団、社会福祉協議会の協力をお願いして実施した。			◎有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・子供と親と一緒に学べる・体験できる学習キャンプの柱として、防災関係を実施できたことは非常に良かった。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					<意見への対応>		対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					<意見への対応>		対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 環境・地域再生に係る事業

事業名	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業	実施年数	18年目												
事業期間	開始：平成19年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 自然と共生し快適に暮らせるまち ◎自然に親しみ環境を考えるまちづくりに努める。														
目的 (期待される効果)	清掃活動や環境学習講習会、カヌー教室、スケッチ大会などの石崎浜・石崎川流域の活動を通して自然とふれあい、環境保全活動と啓蒙の向上に努める。														
事業内容・手段	<p>(1) 石崎川河川浄化啓蒙推進活動 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：EM 活性液講習会：6月2日，EM 石鹸づくり講習：7月7日 内 容：我々の生活の中で環境負荷を削減するためにできること等の環境講話と環境負荷が少ないEM 活性液・ぼかし、EM 石鹸づくりの講習会を実施した。</p> <p>(2) 石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 場 所：石崎浜、石崎川なぎさ橋周辺及び自転車道 実施時期：5月～11月 内 容：石崎浜ビーチクリーン活動に20名が参加 11月には広瀬中学校の地域ボランティア活動の生徒160名と地域の人等総勢233名が参加して自転車道なぎさ橋周辺のペットボトル、プラ、缶などのごみ回収活動を実施した。今年も台風の上陸が無く、不法投棄も少なかった為、ごみの回収量は少なかった昨年よりさらに少なく軽トラ1台分であった。</p> <p>(3) 親子カヌー教室 場 所：栄橋の東～鉄橋下までの石崎川および堤防 実施時期：7月28日 内 容： NP02 団体との共催による親子カヌー教室を開催した。カヌー13艇、子ども13名、保護者9名、広中のボランティアの生徒5名、スタッフ等49名が参加して実施した。</p> <p>(4) スケッチ大会の開催 場 所：石崎地区東側田んぼ 実施時期：11月17日 内 容：石崎地区農地水環境を守る会の人たちが種まきしたコスモス田で子供14名、保護者9名、スタッフなど30名が参加してスケッチ大会を実施した。</p>														
事業費	125,807円														
対象者	小学生、中学生及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>317人</td> <td>371人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>75人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>392人</td> <td>442人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	317人	371人	スタッフ	75人	71人	合 計	392人	442人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	317人	371人													
スタッフ	75人	71人													
合 計	392人	442人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・EM 石鹸づくりの時間は、午後からは暑いので午前中の開催にしてほしい。 ・カヌーは面白いので来年も参加したい。 ・年々自転車道周辺のごみが少なく綺麗になっている感じがします。 ・今年のスケッチ大会はコスモスがまだ満開よりちょっと早かったようです。満開に合わせるのは難しいと思いますが来年は満開を期待しています。 ・EM を使って美味しい野菜を作ろうとわくわくします。 ・EM の2つの講習会に参加できて大変楽しかったです。 ・暑い中、カヌーのスタッフの方に親子ともども感謝しています。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	参加者のアンケートや聞き取りPTA、学校、自治会、部会員のなどの意見を参考にしている。	広報	4 事業の周知	A	A	地区回覧チラシ、小中学校の協力を得て全校生徒へのチラシ配布などで告知を行った。
	2 住民の参加	A	A	EM 石鹸づくり、カヌー教室は、猛暑の7月開催で参加する人の激減を心配したが、11月に開催した他の事業も併せて、例年並みの参加者であった。		事業の効果	5 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	当協議会が目的としている、自然を、カヌーや、コスモス、ごみ回収等で肌を感じ、環境への啓蒙を促す活動として取り組んでいる。	事業の必要性		6 住民の満足度	A	A
	3 各種団体との連携	A	B	NPO の2団体との連携や学校、PTA、地域ボランティア団体、自治会からも協力を得ている。		事業継続の必要性	有・無		
良かった点・改善点等	・石崎川の河口、なぎさ橋周辺では、ポイ捨て、不法投棄が減少しており、広瀬中学校生がボランティアとして、毎年活動しているゴミ回収が好影響を与えているものと思われる。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未・済
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未・済
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり地区民交流事業		実施年数	19年目												
事業期間	開始：平成18年		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 活気あふれ、いきいきと働けるまち ◎老若男女の住民が健康で明るいまちづくりに努める。															
目的 (期待される効果)	元気げんき祭り、グラウンドゴルフ大会、ペタンクを通して、健康づくりと地区民の交流親睦を推進する。															
事業内容・手段	(1) 第20回元気げんき祭り 会場：宮崎市立広瀬中学校体育館 実施時期：12月8日 内容：自治会、参加者からの要望で、家族で参加し易いように新たに、幼児種目のパンくい（つかみ）の種目を加え、ペタンク投げ、グラウンドゴルフリレー、宅配便リレー、障害物競走の5種目の競技、抽選会とせんぐまきを復活させて実施した。抽選会には町内外の30の事業所から景品の提供があり大会を盛り上げた。参加者は小学生から高齢者まで、総勢370名以上が参加した。また今回も広瀬中学校の生徒31名が受付、審判、競技運営などにボランティアで支援してくれて時間通りに進行することができた。 (2) 自治会交流グラウンドゴルフ大会 会場：石崎グラウンド 実施時期：11月30日 内容：天候不順で2回延期しての開催となった為、昨年より少ない、16地区から22チーム98名が参加し、18ホールで熱戦を展開した。参加者は少なくなったが、5名の90歳以上の参加者を筆頭に、元気なプレーを楽しんだ。 (3) スポーツレクリエーション「ペタンク」 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：9月29日 内容：8チーム24名が参加して、大会を開催した。参加者は65歳以上の方が多かったが、約1時間のスポーツレクリエーションを楽しまれた。															
事業費	537,312円															
対象者	地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>413人</td> <td>431人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>100人</td> <td>88人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>513人</td> <td>519人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じ男女別年齢別データ				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	413人	431人	スタッフ	100人	88人	合計	513人	519人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	413人	431人														
スタッフ	100人	88人														
合計	513人	519人														
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・元気げんき祭りに幼児種目ができて親子で楽しむことができました。 ・元気げんき祭りの種目に要望を取り入れて頂いてありがとうございます。 ・今年も中学生30数名がボランティア手伝ってくれてうれしいです。 ・せんぐを拾うのに童心に帰って一生懸命にして楽しかったです。 ・楽しく、進行もスムーズでスタッフの皆さんご苦労様でした ・グラウンドゴルフ大会は、雨で2回延期されましたが、協議会のスタッフの皆さんも屋外競技はなかなか大変と思います。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項		
		本年度	前年度				本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	参加者、自治会長、学校、及び部会員などからの提案、意見を受け、地域のニーズを把握して、企画に生かしている。	広報	4 事業の周知	A	A	自治会を通してのチラシ回覧、全世帯配布、及び小中全校生徒を通じて保護者へのチラシ配布をして、周知を図った。		
	②住民の参加	A	B	グラウンドゴルフ、ペタンク大会などは、競技の特性から、高齢者の競技のイメージがあり、一般、若年層の参加者は限られているが、元気げんき祭りは、各地域から老若男女多数が参加した。			事業の効果	7 課題解決への作用	A	A	それぞれの事業の特性を生かして、小学生、中学生から高齢者までの老若男女が参加して、交流できたことは、健康で明るいまちづくりの課題解決につながると確信している。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各地域の交流手段として、参加者の構成、年齢などそれぞれが違うレクリエーションスポーツ&祭りを開催する事は、地域住民の参加機会・交流の機会を広げ、活性化する地域づくりを目指す取り組みとして妥当なことである。	事業の効果	8 住民の満足度			A	A	楽しい時間を共有し、校区内の他の地域との交流ができて住民の満足度は高い。
	④各種団体との連携	A	A	学校、自治会、地域事業所と連携して行った。			事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・元気げんき祭りに、幼児も参加できる種目を新たに設け、幼児連れの親子参加の垣根を下げて、だれでも参加し易い環境に改善した。また抽選会の時間短縮を図る為、受け取り箇所を複数箇所設けて改善を図った。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						<意見への対応>		対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						<意見への対応>		対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生・伝統文化に係る事業

事業名	ふれあい交流推進活動に係る事業	実施年数	18年目												
事業期間	開始：平成19年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</p> <p>◎郷土の文化を大切にし、子供と大人が触れ合えるまちづくりに努める。</p>														
目的 (期待される効果)	郷土の音頭、曾我兄弟踊、昔のあそび等を通して子供から大人まで幅広い地区民の交流と伝統文化の普及継承を推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) 伝統芸能の普及活動</p> <p>ア 広瀬音頭普及活動</p> <p>会 場：広瀬神社祭り会場、広瀬小学校</p> <p>実施時期：7月～10月</p> <p>内 容：広瀬神社祭り会場での踊りの披露、広瀬小学校1年生への踊りの指導、広瀬小学校全児童による運動会での総踊等で普及活動を行った。</p> <p>イ 曾我兄弟踊り広瀬小学校公演</p> <p>会 場：広瀬小学校体育館</p> <p>実施時期：10月31日</p> <p>内 容：広瀬小学校6年生の総合学習の時間に大炊田地区で150年前から継承されている鎌倉時代の曾我兄弟踊りの公演と仇討ちがあった当時の武士社会の慣習等の講話を実施した。</p> <p>(2) 郷土の偉人啓次郎及び昔の遊びなどの学校支援活動</p> <p>会 場：広瀬中学校、広瀬小学校</p> <p>実施時期：6月～1月</p> <p>内 容：広瀬中学校3年生の啓次郎の日学習で、啓次郎のアメリカ留学について外山氏の講話を実施。広瀬小学校の1年生の「昔のあそびを楽しもう」の時間に、地区の方15名と佐土原歴史資料館の2名が参加して、子供達に竹馬、竹とんぼ、おじゃみ、神代ごま等の遊びの指導を実施。広小学校5年、6年生のミシン学習の支援を民生委員や地区の人など10回にわたり延べ30名で実施した。</p>														
事業費	61,816円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1239人</td> <td>1264人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>26人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1265人</td> <td>1302人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1239人	1264人	スタッフ	26人	38人	合 計	1265人	1302人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1239人	1264人													
スタッフ	26人	38人													
合 計	1265人	1302人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り会場で、飛入りの小中学生が踊ってくれる光景は和やかです。 ・運動会の総踊りでは、久しぶりに地域の方も一緒に踊りに加わり、広瀬の音頭らしさが見られた。 ・曾我兄弟踊りでは子供たちがたくさん質問をもらい元気が出ました。 ・むかしのあそびを子供と一緒にしながら、自分の子ども頃を思い浮かべ、当手を懐かしく思い出しました。 ・ミシン学習に参加して、今の子どもたちは活発だなあと感じました。 ・啓次郎が生きていたら、日本は変わっていたかもしれないと想像するのが楽しい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体の街づく	1 地域ニーズの把握	A	A	広瀬音頭は広く地区民に周知し普及を図るため、地域の祭り及び小学校での普及活動を主体的に行った。また曾我兄弟踊、ミシン学習、昔のあそび、啓次郎講話は学校の要望を取り入れ実施した。	広報	5 事業の周知	A	A	曾我兄弟踊、むかしのあそび等の学校行事や、広瀬音頭等を広報誌、HP で地区民に広報した。
	2 住民の参加	A	A	広瀬神社祭りの広瀬音頭は、昨年よりも子供たちの飛入り参加が多く、大勢の人の輪となった。小中学校の支援事業では、地域の一般住民など多くの方が参加した。			事業の効果	◎課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	当協議会では学校を中心に、郷土の文化を大切に、子どもと大人が触れ合えるまちづくりに努めることを目的としており、文化の継承と学校支援に参加して子供たちと触れあう適切な取り組みである。	6 住満足度				A
	3 各種団体との連携	A	B	大炊田高嶺会、民生委員、曾我兄弟踊保存会、及び学校と連携して事業を実施した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済
		<意見への対応>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 地域教育に係る事業

事業名	中学生ボランティア事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち ◎年少少女の中学生が思いやりのある誇れるまちづくりに努める。														
目的 (期待される効果)	ボランティアを通して中学生の郷土愛と地域社会への参加を推進する。														
事業内容・手段	(1) 広瀬中学校生徒による地域ボランティア活動 場 所：石崎川なぎさ橋周辺・新町の招魂塚 実施時期：11月10日 内 容：清掃活動に応募したボランティアの中学生（160名）と地域の人たち、スタッフ等233名が協働して、なぎさ橋周辺、招魂塚周りのプラ、ペットボトル、缶、ビン等回収作業を実施した。今年台風の影響が無く、また毎年の継続がゴミ捨てや不法投棄の減少につながった可能性があり、昨年よりさらに回収ごみは少なかった。招魂塚周りでは、逆に竜巻の影響で竹林がなぎ倒されたりした中での作業となった。														
事業費	59,291円														
対象者	中学生及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>213人</td> <td>271人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>233人</td> <td>290人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	213人	271人	スタッフ	20人	19人	合 計	233人	290人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	213人	271人													
スタッフ	20人	19人													
合 計	233人	290人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年で3年連続になるが、今まで参加して一番ごみが少なかった。 ・ゴミが少なく、短い時間で終わって助かったが、なんだか物足りない気もした。 ・今年のようにいつもきれいな石崎浜だったらいいなあ。 ・ゴミが少なくて何か自分たちの活動が認められたような気になった。 ・地域の人と話しながらレクレーション気分でのゴミ拾いでした。 ・招魂塚の竜巻の爪痕を見てびっくりしました。 ・竜巻で大木が倒れ、竹がめっちゃくちゃになって、何をしてもいいかわからなかった。 ・顔見知りの地区の大人の人と作業するのは初めてでしたか楽しかった。 ・自転車道は草が生えて、木々が覆いかぶさって、これでは利用する人も少なくなるように思えた。 ・自転車道は犬の糞が多く、犬を飼っている人のマナーがなってない。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	1	A	A	地域ニーズの把握	A	A	地域で子供を育てる健全育成の地域のニーズと、生徒たちの自主的な地域貢献の願いを受けて実施している。		
	2	A	A	住民の参加	A	A	広瀬中学校生徒と地域住民290名が参加。		
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子どもと地域の大人が協働し交流する活動が地区の活性化につながるという観点から取り組んでいる。	8	A	A	参加した中学生は、ごみ回収作業ボランティアを実践し、地域の一員としての自覚と満足感を実感したものであると思う。また地区住民も中学生との協働活動で交流ができ満足しているものと思う	
	3	A	A	各種団体との連携	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					<意見への対応>		対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					<意見への対応>		対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] 地域教育に係る事業

事業名	協議会講座事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成28年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</p> <p>◎講座を通して自己研修ができるようなまちづくりを目指す</p>														
目的 (期待される効果)	<p>広瀬の近代史を知る機会を提供し郷土愛への醸成を推進する。 また、様々な講座を行い、知識の習得や住民相互の交流を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 協議会講座</p> <p>会場：広瀬地区交流センター、校区内周辺の啓次郎ゆかりの地</p> <p>実施時期：7月～8月</p> <p>内容：講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根井三郎について ・啓次郎ゆかりの地ウォーキングパートⅡ ・Fureai concert <p>根井三郎については、昨年が続いて、2人の根井三郎顕彰会員の講師に、敦賀市記念館の根井三郎に関する扱いや、当時の日本外交の中でビザ発給の心情などについての講話、訪ねてみよう啓次郎ゆかりの地ウォーキングは、啓次郎が目指した教育をテーマに、広瀬小学校の前進の川北小学校跡地等、約3,5キロのウォーキングを実施。Fureai concertでは、広瀬中学校吹奏楽部と、ビックバンドPorta Portaによる生バンド演奏会を実施した。</p>														
事業費	125,906円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>107人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>152人</td> <td>66人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	107人	52人	スタッフ	45人	14人	合 計	152人	66人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	107人	52人													
スタッフ	45人	14人													
合 計	152人	66人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・佐土原の偉人でなく、宮崎県の偉人だと思います。学びもあり笑いもあり楽しい時間でした。 ・杉原千畝はテレビ見たことありましたが、根井三郎さんも今回すごく勉強になり興味がわきました。 ・普段いけないところに、徒歩で行けるのがとてもよかった。 ・他の音楽も幅広くこのような機会が増えるといいですね。 ・学生の皆さん毎日練習して臨まれたのでとても感動しました。 ・生のジャズ演奏が聞けて感動しました。 ・無料で子供たちと、本格的な音楽を聴けて贅沢な時間を過ごせました。 ・音量が大きくやっぱりプロだなあと感じました、迫力があってすごい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
		本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	前回のアンケートや部会員の提案を参考にしている。	広報	◎事業の周知	A	A	講座ごとにチラシと、HP、ポスター等で周知した。
	2 住民の参加	A	B	3講座とも、それぞれの持ち味を生かした内容になっており、想定した参加状況であった。特に初めての、Fureai concert は想定以上の住民の聴衆参加者があった。		事業の効果	◎課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域づくりは、人の集まり、交流からの草の根活動にあるという原点を踏まえたものとして妥当である。	事業継続の必要性		◎住民の満足度	A	B
	3 各種団体との連携	A	B	根井三郎顕彰会、学校		有・無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 啓次郎ウォーキングは、参加者の年齢などを考慮して、昨年より約1キロ短いコースにした。 今回初めの Freai concert は、目の前の住民に、地元の広中の吹奏楽と大人のビックバンド Porta Porta の生演奏という企画で大変良かった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] 地域再生に係る事業

事業名	広報事業	実施年数	19年目												
事業期間	開始：平成19年														
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 ◎広報のツールを使い地域の住民と協議会の橋渡しの役割を担う														
目的 (期待される効果)	広報を通して協議会への理解と地域づくりの活性化を推進する。														
事業内容・手段	(1) 協議会活動の広報・知名度アップの活動 会場：広瀬地区交流センター及び各事業会場 実施時期：通年 内容：年3回の「広報ひろせ」の発行とHPの運営、一部チラシ作成を実施した。														
事業費	310,415円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	人	2人	スタッフ	4人	3人	合計	4人	5人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	人	2人													
スタッフ	4人	3人													
合計	4人	5人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの活動を知るきっかけとなった。 ・広報誌やHPを見ると実施された事業を振り返る楽しさがわいてくる。 ・難しいと思いますが、広報誌をもう少し早いタイミングで発行ができればと思います。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	部会員や学校、地域住民の方からの地域行事等を取り上げている。	広報	4 事業の周知	A	A	広報誌は年3回発行し全世帯配布している。HPは随意発信し事業の紹介等を行っている。また一部事業のチラシを作製した。	
	◎住民の参加						事業の効果	5 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協議会の発信ツールであり協議会の取り組みとして当然妥当な取り組みである。	6 住民の満足度	A			A	住民主体の広報誌、HPとして満足を得ているものと思う
	◎各種団体との連携	A		小中学校		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・広瀬小学校のマチコミに71号より掲載を開始した。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>					対応		未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[8] 地域再生に係る事業

事業名	地域リーダー育成事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成25年	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち ◎人材育成のできるまちづくりに努める。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>研修を通して自治会活動の活性化を推進する。</p>														
事業内容	<p>(1) リーダー育成研修事業 会 場：小林市真方212-1 実施時期：10月19日 内 容 研修視察先 小林市の一般社団法人 HUG 小林にある一般社団法人が取り組んでいる、困窮家庭の児童を対象にした学習支援、キッズサポートルーム、放課後子ども教室などの取り組みについて、井手口代表理事より説明を受け、質疑応答などを通じて、自治会、地域づくりの今後の取り組みに生かす勉強会となった。</p>														
事業費	108,192円														
対象者	自治会長、協議会役員														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>10人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	10人	28人	スタッフ	1人	1人	合 計	11人	29人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	10人	28人													
スタッフ	1人	1人													
合 計	11人	29人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭格差 (片親世帯等)、収入格差からのひずみで、目には見えない子供たちの、寂しさ、学業への影響などを、一般社団法人として子供に手を差し伸べる活動の説明を受けて感銘しました。 ・聞き見するのは容易だが、自分たちの地域に置き換えて考えた場合は、なかなか大変だなあという思いの方が先にたちます。 ・助けを必要としている子どもは、この広瀬にもたくさんいると思うと、何か行動せねばと思うが。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	B	自治会長や協議会役員などから情報を収集している。	広報	4 事業周知	B	B	自治会長会部会および協議会役員部員に案内している。
	2 住民の参加	B	B	自治会役員、協議会役員と部会員を対象にして参加を募っている。	事業の効果	5 課題解決への作用	B	A	格差社会の到来の中、今後、協議会で対応できる範疇で対応するものは何か、考えることが、健康で笑顔あふれる安全で安心できる住み続けたいまちづくりへの解決策の一つと捉えている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域づくり、自治会の隠れた課題でなく、今後は正面から取り組まなければならない、地域づくりの使命となり得る課題であり、妥当な研修と捉えている。		6 住民満足度	A	A	満足というより、考えさせられる研修会であった。
	3 各種団体との連携	B	B	自治会、また視察研修先選定において県、市の地域担当課から情報を得ている。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[9] 地域福祉に係る事業

事業名	制服等の譲渡会事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎子供にやさしい支え合える地域を目指す。														
目的 (期待される効果)	すべての家庭の子どもたちが家庭環境に関わらず健全で等しく学べる助け合いの機会を推進する。														
事業内容・手段	(1) 制服等の譲渡会事業 会 場：広瀬地区交流センター 実施時期：4月～2月（譲受・引き渡し）、譲渡会：12月1日 内 容：広瀬中学校の卒業生から、譲ってもらった制服や柔道着、カバン等、令和7年度に広瀬中学校に入学する広瀬小学校の6年生、進級する広瀬中学校の1・2年生で制服等を必要とする対象者への譲渡会を開催した。														
事業費	61,191円														
対象者	広瀬小学校6年生、中学校の在校生、保護者及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>32人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>40人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	32人	22人	スタッフ	8人	7人	合 計	40人	29人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	32人	22人													
スタッフ	8人	7人													
合 計	40人	29人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・大変ありがとうございます。感謝しています。 ・転入生で悩んでいましたが、譲渡会があり助かりました。 ・まだきれいな制服で、どうしようかと思っていましたが、こういう形で、役立てることができてうれしいです。 ・何もかも高くなり大変助かります。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	1 地域ニーズの把握	A	A	PTA, 学校、校区内の一般の方からの要望により実施した	広報	4 事業の周知	A	A	回覧チラシ、HP、学校を通じて対象学年生徒にチラシ配布、HPでの告知
	2 住民の参加	A	A	回覧チラシ、HPで地域住民へ寄贈参加を呼びかけた。また譲渡会には必要とする家庭の親子が参加した。	事業の効果	5 課題解決への作用	A	A	当事業の主旨でもある、ともに支え合う地域づくりの課題に対し、傍観者でなく、課題解決の当事者として、この事業を通して、格差やSDGsに取り組んで、子供たちが健全で等しく学べるよう前進している。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会での取組としての妥当性	A	A	地域の子どもは地域で育てることは、当協議会の使命でもあり、格差社会の中、共助としての協議会のしっかりした取り組みは意義がある。		6 住民満足度	A	A	学校、PTA, 地域住民の方から評価を得ている。
	3 各種団体との連携	B	B	PTA、小中学校クリーニング店	事業継続の必要性		有 無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> スタッフの負担を軽減するため、開催を2日間から1日短縮し、1組当たりの所要時間を30分刻みから、15分刻みにして対応した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[10] 地域教育に係る事業

事業名	学習キャンプ事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和6年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つ町</p> <p>◎キャンプの共同生活体験を通じて、子供たちの健全育成に寄与する</p>														
目的 (期待される効果)	<p>屋外キャンプによる共同生活を通して、自立と助け合いの重要性を体験し、障がい者疑似体験、災害時の非常食づくり学習等、普段学校で体験できない学びに触れさせ、これからの子ども達の成長につなげる。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) キャンプ</p> <p>会場：石崎グラウンド、広瀬地区交流センター</p> <p>実施時期：8月3日～4日</p> <p>内容：初日は、社会福祉協議会の協力を得て、車いす、アイマスク疑似体験、2日目はグラウンドで佐土原消防団員の協力で、消火器による消火体験、9ℓの水を背ってのグラウンドゴルフ、ロープやタンカでの救出等の防災運動会を実施。昼はハイゼックスごはんづくりと、豚汁の炊き出し体験を実施した。</p>														
事業費	66,381円														
対象者	広瀬小学校6年生、中学校の在校生、保護者及び地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>38人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和年度	一般参加者	38人	人	スタッフ	17人	人	合計	55人	人
年度	令和6年度	令和年度													
一般参加者	38人	人													
スタッフ	17人	人													
合計	55人	人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなイベントを企画していただき楽しかったです。 ・もう少し涼しい時期がいいかも。 ・夏休みなら宿題（書道、絵、工作等）をやる会なども良いかも。 ・レクレーションはととてもためになりました。 ・年齢関係なく楽しめたと思います。 ・さまざまなイベントがあり、2日間盛りだくさんで子供も大人も楽しめました。 ・子供たちはアイマスク、車いす、消防団の体験が特に楽しかったようです。何度もやっていました。 ・また参加したいなあと思う企画でした。 ・防災訓練も面白く体験できて、自分の防災対策をもう一度考え直さないといけないなと思いました。 ・楽しかった、運動会が特に楽しかった、またやってほしい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	4 地域ニーズの把握	A		部会員たちの、親子で楽しむ体験会のアイデアの中から事業化した。	広報	7 事業の周知	B		自治会回覧チラシ、小学校の保護者へのチラシ配布	
	5 住民の参加	A		一般参加は38人と少なめであったが、期待した通りの親子ずれ住民参加であった。						事業の効果
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		親子の絆を深めることは、子供たちの、成長過程で大事なことであり、その機会を提供することは、当協議会として妥当である	事業継続の必要性	9 住民満足度	A		アンケートなどから、参加した住民、スタッフとも満足度は高いと推察する。	
	6 各種団体との連携	A		社会福祉協議会、消防団、NPO等と連携協力した。						
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応							対応	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[10] 福祉事業

事業名	フリーマーケット開催事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和6年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち ◎資源を大切にし、持続可能な支え合える地域を目指す。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>SDGsを身近な地域レベルで実践するため、物は使える限り大切に使い、お互い助け合う市場として、フリーマーケットを開催し、牽いては地域の多彩な交流を促進する。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) フリーマーケットの開催 会場：広瀬地区交流センター 実施時期：3月2日 内容：校区内外の32組の出店者の他、キッチンカー3台とスタンブラリー、神代こま、スーパーボール、わなげなどのお楽しみコーナーや、ポップコーン等のカフェを設けてフリーマーケットを実施した。</p>														
事業費	82,501円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>700人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>41人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>741人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和年度	一般参加者	700人	人	スタッフ	41人	人	合 計	741人	人
年 度	令和6年度	令和年度													
一般参加者	700人	人													
スタッフ	41人	人													
合 計	741人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった来年もよろしく。 ・他のフリマより良かった。 ・遊びコーナーでひと汗かきました。 ・色々なものが安く買えてよかったです。 ・ピンポン玉の金魚すくいを娘がとても喜んでいました。 ・片付けは一人だったのでスタッフの方が手伝ってもらってありがとうございました。 ・地域の方はご存知かもしれませんが、もう少し宣伝があると良かったかと思いました。 ・お客様とのやり取り、値下げ交渉なども楽しめた。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
		本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	7 地域ニーズの把握	A		多くの住民からの要望も強く出ていたので実施した。	広報	10 事業の周知	A	自治会回覧、小中学校を通じた全保護者へのチラシ、地域の幼稚園のチラシ配布、HPでの告知
	8 住民の参加	A		地元住民や郊外の人など、小中学生や親子連れなど約700名が来場した。		事業の効果	11 課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	◎地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		活気あふれる住民交流の場づくり、もったいない気持ちで持続可能な地域を目指すことにふさわしい事業である。	事業の必要性		12 住民満足度	A
	9 各種団体との連携	B		くじらスポレククラブの協力を得る。		事業継続の必要性	有	無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> スタンプラリーや、遊びコーナーを設けて家族で楽しめるフリーマーケットが開催できた。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応</p>						対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応</p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	地域安全確保推進に係る事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	241,000	
2	繰越金	0	
3	雑収入	60,000	令和5年度車検積立金
	合計(A)	301,000	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	112,132	①防災に係る支援と啓発活動 14,184円
2			非常食 0円
3			お茶 3,360円
4			文具 10,824円
5			②防犯パトロールの推進 89,619円
6			お茶 10,080円
7			文具他 12,804円
8			燃料代 36,375円
9			タイヤ交換 30,360円
10			③危険箇所改善推進活動 1,680円
11			お茶 1,680円
12			④子どもみまもり隊活動支援 6,649円
13			お茶 3,360円
14			文具他 3,289円
15	役務費	148,800	①防災に係る支援と啓発活動 0円
16			②防犯パトロールの推進 148,800円
17			任意保険 32,230円
18			保険 25,740円
19			整備費 90,280円
20			振込手数料 550円
21	公課費	4,000	②防犯パトロールの推進 4,000円
			自動車税 4,000円
	合計(B)	264,932	

収支差額(A-B)	36,068
-----------	--------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	石崎浜・石崎川流域再生利用促進に係る事業
-----	----------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	148,400	
2	雑収入	10,500	負担金：EM活性1,200円EM石鹸300円カヌー9,000円
3			
	合計(A)	158,900	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	報償費	5,000	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 5,000円
2			講師謝金 5,000円
3	需用費	62,597	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 30,013円
4			EM材料代 22,388円
5			文具 7,625円
6			②石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 924円
7			文具 924円
8			③親子カヌー教室 25,889円
9			お茶 3,360円
10			文具 7,625円
11			弁当30人分 14,904円
12			クリーニング 0円
13			④スケッチ大会 5,771円
14			お茶 1,680円
15			文具 4,091円
16	役務費	27,710	①石崎川河川浄化啓蒙推進活動 2,000円
17			保険 2,000円
18			②石崎浜・石崎川河口流域清掃活動 0円
19			③親子カヌー教室 24,710円
20			保険 24,710円
21			④スケッチ大会 1,000円
22			保険 1,000円
23	使用料及び賃借料	30,500	③親子カヌー教室 30,500円
24			カヌー賃借料 30,000円
25			軽トラ借用料 500円
26			④スケッチ大会 0円
	合計(B)	125,807	

収支差額(A-B)	33,093
-----------	--------

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	健康づくり地区民交流事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	308,600	
2	繰越金	236,530	
3			
	合計(A)	545,130	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	436,372	①第20回元気げんきまつり 340,958円
2			弁当82名分 35,246円
3			参加賞 20,160円
4			お茶 6,720円
5			景品・賞品 114,132円
6			せんぐ・お菓子代 142,790円
7			競技道具 0円
8			文具 21,910円
9			②自治会交流グランドゴルフ大会 72,900円
10			お茶 5,040円
11			参加賞・賞品 49,586円
12			弁当34名分 17,464円
13			文具 810円
14			③スポーツレクリエーション「ベタンク」 22,514円
15			お茶 1,680円
16			賞品 18,418円
17			文具 2,416円
18	役務費	96,440	①第20回元気げんきまつり 84,160円
19			保険 16,000円
20			葉書・切手 55,840円
21			クリーニング 12,320円
22			②自治会交流グランドゴルフ大会 11,240円
23			保険 11,240円
24			③スポーツレクリエーション「ベタンク」 1,040円
25			保険 1,040円
26	使用料及び賃借料	4,500	①第20回元気げんきまつり 3,500円
27			軽トラ借用料 3,500円
28			②自治会交流グランドゴルフ大会 1,000円
29			軽トラ借用料 1,000円
30			
	合計(B)	537,312	

収支差額(A-B)	7,818
-----------	-------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	ふれあい交流推進活動に係る事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	81,000	
2			
3			
	合計(A)	81,000	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	報償費	15,000	①伝統芸能普及活動 10,000円
2			曾我兄弟踊り保存会出演謝金20名 10,000円
3			②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び等の学校支援 5,000円
4			講師謝金 5,000円
5	需用費	33,696	①伝統芸能普及活動 27,462円
6			おにぎり40名 11,145円
7			お茶 10,080円
8			文具 6,237円
9			②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び等の学校支援 6,234円
10			お茶 1,680円
11			文具 4,554円
12			
13	役務費	13,120	①伝統芸能普及活動 13,120円
14			保険 2,560円
15			クリーニング 10,560円
16			②郷土の偉人啓次郎及び昔の遊び等の学校支援 0円
17			
	合計(B)	61,816	

収支差額(A-B)	19,184
-----------	--------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	中学校ボランティア事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	65,000	
2			
3			
	合計(A)	65,000	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	38,891	①広瀬中学校ボランティア活動 38,891円
2			お茶 20,160円
3			ゴミ袋・軍手 16,292円
4			文具 2,439円
5	役務費	19,400	①広瀬中学校ボランティア活動 19,400円
6			保険 15,000円
7			クリーニング 4,400円
8	使用料及び賃借料	1,000	①広瀬中学校ボランティア活動 1,000円
9			軽トラ借用料 1,000円
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
	合計(B)	59,291	

収支差額(A-B)	5,709
-----------	-------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	協議会講座事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	179,000	
2			
3			
	合計(A)	179,000	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	報償費	30,000	①協議会講座 30,000円
2			講師謝金 0円
3			出演者謝金13名 20,000円
4			出演者謝金23名(広瀬中学校吹奏楽部) 10,000円
5	需用費	31,806	①協議会講座 31,806円
6			お茶 3,360円
7			参加賞 9,618円
8			文具 11,521円
9			弁当 7,307円
10	役務費	2,500	①協議会講座 2,500円
11			保険 2,500円
12	使用料及び賃借料	0	①協議会講座 0円
13	備品購入費	61,600	①協議会講座 61,600円
14			プロジェクター 61,600円
15			
16			
17			
	合計(B)	125,906	

収支差額(A-B)	53,094
-----------	--------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	広報事業
-----	------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	315,000	
2			
3			
	合計(A)	315,000	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	187,275	①協議会活動の広報・知名度アップ事業 187,275円
2			広報印刷製本費 179,520円
3			文具 7,755円
4	使用料及び賃借料	123,140	①協議会活動の広報・知名度アップ事業 123,140円
5			サーバー使用料 14,900円
6			印刷機リース料 108,240円
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
	合計(B)	310,415	

収支差額(A-B)	4,585
-----------	-------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	地域リーダー育成事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	139,000	
2			
3			
	合計(A)	139,000	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	報償費	0	①リーダー育成研修事業 0円
2	需用費	26,872	①リーダー育成研修事業 26,872円
3			お茶 8,400円
4			弁当10名 7,000円
5			資料代 0円
6			文具 6,072円
7			土産 5,400円
8	役務費	1,000	①リーダー育成研修事業 1,000円
9			保険 1,000円
10	委託料	80,320	①リーダー育成研修事業 80,320円
11			バス代 80,320円
12			
13			
14			
15			
16			
17			
	合計(B)	108,192	

収支差額(A-B)	30,808
-----------	--------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	制服等の譲渡会事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	63,000	
2	雑収入	26,700	個人負担金：27,200円内500円返金
3			
	合計(A)	89,700	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	39,491	①制服等の譲渡会事業 39,491円
2			防臭剤 1,796円
3			弁当2名 1,244円
4			文具 36,451円
5	役務費	21,700	①制服等の譲渡会事業 21,700円
6			クリーニング 21,700円
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
	合計(B)	61,191	

収支差額(A-B)	28,509
-----------	--------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	学習キャンプ
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	84,000	
2	雑収入	9,500	負担金：参加者19名
3			
	合計(A)	93,500	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	51,861	①学習キャンプ 51,861円
2			食材 19,990円
3			キャンプ資材 14,739円
4			宝探し 0円
5			お茶 6,720円
6			感染対策 0円
7			文具 7,937円
8			燃料費(プロパンガス) 2,475円
9	役員費	14,520	①学習キャンプ 14,520円
10			保険 14,520円
11	使用料及び賃借料	0	①学習キャンプ 0円
12			
13			
14			
15			
16			
17			
	合計(B)	66,381	

収支差額(A-B)	27,119
-----------	--------

(様式第5号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

事業名	フリーマーケット開催事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	63,000	
2	雑収入	21,800	ポップコーン売上金4,500円+出店料17,300円
3			
	合計(A)	84,800	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	内訳
1	需用費	75,129	⑩フリーマーケット開催事業 75,129円
2			お茶 8,400円
3			弁当37名 25,700円
4			文具 41,029円
5	役務費	0	⑩フリーマーケット開催事業 0円
6	使用料及び賃借料	6,500	⑩フリーマーケット開催事業 6,500円
7			ポップコーン器材 5,500円
8			軽トラ借用料 1,000円
9	原材料	872	⑩フリーマーケット開催事業 872円
10			ポップコーン材料 872円
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
	合計(B)	82,501	

収支差額(A-B)	2,299
-----------	-------

(様式第8号)

積立金管理状況報告書

佐土原地域自治区

広瀬小学校区地域づくり協議会

積立金名称	地域安全確保推進に係る事業
-------	---------------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	60,000	R5年度車検積立金
2	積立額		
3	取崩額	60,000	車検の為
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計		

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計		

(様式第 10 号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 7 年 3 月 1 7 日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町下那珂 2940 番地 82
名 称 広瀬小学校区地域づくり協議会
代表者の氏名 井上 聖子
電話番号 0985-73-1120

令和 6 年 6 月 7 日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において 248,286 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します
ので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金 248,286 円
特例交付金

添 付 書 類

令和 6 年度収支決算書

令和 7年 5月 20日

令和6年度 広瀬小学校区地域づくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

佐土原地域自治区地域協議会
会長 根井 翼

令和6年度の佐土原地域自治区（広瀬小学校）の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

計画に沿って適正な運営が図られていました。

事業実績報告書における自己評価を踏まえて、今後の事業に活かしてください。

事業の実施にあたっては、更に工夫を凝らして成果が得られるようにお願いします。

2 事業の推進体制

特にありません。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見

4 その他